

① はまなか

議会だより

NO 114

平成27年10月25日発行



スポーツの秋、健脚競い入賞めざすランナー（10月3日 町民マラソン大会）

9月定例会

	ふるさと納税が急増	2P
予 算 議	中学校校舎補修の内容は	3P~5P
一 質 問	5人の議員が町政を問う	7P~11P
	学不可以已（高橋 <small>ひかる</small> 輝 さん）	12P

一般会計補正予算7670万円を追加 予算総額 64億3826万円に

9月
定例会
9日・10日

9月定例会が9日・10日の2日間の会期で開催され、一般会計・介護保険特別会計・浜中診療所特別会計・下水道事業特別会計補正予算と条例改正など17議案が上程され、いずれも原案

どおり可決された。また、教育委員会委員の選任同意は賛成多数で可決。一般質問では、5人の議員が登壇しました。

ふるさと納税が急増

—町物産品が大人気—

ふるさと納税は、地域間格差や過疎などによる税収減に悩む自治体に対しての格差是正を推進するための新構想として、平成20年に創設された制度で正式には「ふるさと寄付金」である。確定申告を行えば個人住民税などの控除額の上限が1割程度だったが、平成27年度から2割に拡大された。また、給与所得者などは年間5自治体までの寄付であれば確定申告が不要となるなど、利用しやすい制度になった。ほとんどの自治体は、お

礼として地場の特産品を用意し、町のPRにもつなげている。本町でも6月からホームページにふるさと納税返礼の地場産品写真を掲載、7月には全国ふるさと納税の情報を集めたポータルサイト「ふるさとチョイス」に情報を提供した。これにより一気に寄付件数が増加し、9月末現在216件、385万円と過去5年とは比較にならないほどの大幅増となっている。ほとんどは1万円くらいの道外からの寄付である。返礼品は、5千円以上の寄付につ

いて金額に同じ、毛ガニ・チーズセット・サンマ・ウニセットの希望が多い。今後は、地場特産品の種類を増やすなどの検討を行い、より積極的にPRしていく。

寄付金の使いみち

- ① 地場産業の振興事業
- ② 自然環境・地域景観保全 および活用事業
- ③ 医療・福祉の充実事業
- ④ 教育・スポーツの振興事業など

本町へのふるさと納税の実績

年度	件数	金額
22	1件	10万円
23	2件	50万円
24	—	—
25	4件	120万円
26	14件	34万円
27	216件	385万円

※27年度は9月末現在

寄付された人へ 地場の特産品を

寄付いただいた金額によりご希望の特産品を選んでいただけます。

- ☆5千円以上1万円未満
 - ・ まるごと昆布セット
 - ・ ママキッチン昆布セットA
 - ・ 昆布佃煮セットA
 - ・ ファームデザインズ牧場セットA
 - ・ 金鈴とろろ昆布7袋セットほか
- ☆1万円以上5万円未満
 - ・ 1本勝負セット
 - ・ 金鈴とろろ昆布13袋セット
 - ・ ママキッチン昆布セットB
 - ・ 昆布佃煮セット
 - ・ Bファームデザインズ牧場セットB
 - ・ 塩水うにパック・生うにセット
 - ・ きりたつぷ昆布の旨味セット
 - ・ 「簾ちか」、「寿粒うに」のセット
 - ・ 北海道きりたつぷ網元浜中丸「鮭焼ほぐし詰合せ」
 - ・ ピザ4枚セット「直徑20cm」ほか
- ☆5万円以上
 - ・ 昆布セットB
 - ・ ママキッチン昆布セットC
 - ・ 昆布佃煮セットC
 - ・ ファームデザインズ牧場セットC
 - ・ 北海道きりたつぷ網元浜中丸「時不知鮭・いくら詰合せ」
 - ・ チーズセットB

補正予算 審議から

中学校校舎補修の内容は

問 校舎等補修工事715万円の減額の内容は。

答 茶内中学校暖房改修工事が当初予算の6700万円から4644万円に減額となったことから、1382万円が浜中学校のトイレを改修し残額を減額補正するもの。

● 茶内中学校暖房改修 ●

問 当初予算6700万円から4644万円に減額になった経過と理由は。

また、工事完了の時期は。

答 この工事は、3分の1の交付金を財源に改修する計画であったが、文部科学省の耐震化事業を優先する方針により他の自治体の事業が採択され、本町は不採択となった。

この交付金を受けるには、各室の暖房機を集中制御方式にすることが採択条件であったが、不採択にな

ったことにより、同程度の暖房効率のある各室暖房方式に変更することで工事費が大幅に減額になった。

また、財源は全額起債(借金)で賄うが、交付金を受けると同等のメリットがある起債を使う。なお、工事は、秋の文化祭に間に合わせたいと考えている。

● 浜中学校トイレ改修 ●

問 トイレ改修工事の内容と財源は。

答 工事は、浜中地区の下水道供用開始に合わせて学校の全トイレを水洗化し、床の改修・暖房便座の導入などトイレ環境向上に配慮した。

また、工事費1382万円の財源は全額防衛交付金を充当するよう調整中である。

合併処理浄化槽の普及を

問 追加補正285万

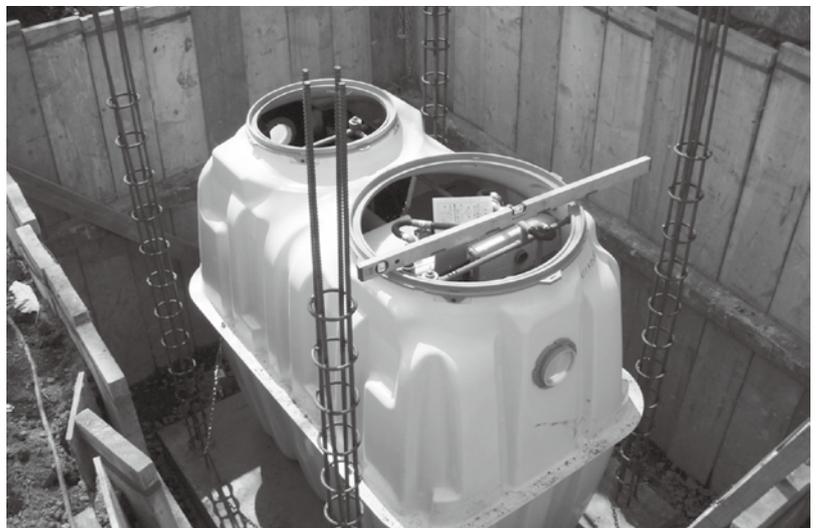
円の内訳は。

また、昨年度までの町単独補助の実績と、環境保護の観点から、浄化槽設置の普及促進に関しての具体策は。

区1基、予備1基)の申請が予定されるため、今回3基分の追加補正。

答 当初予算では5人槽2基、7人槽2基の4基分であった。現在までは農村地区で2基分の申請がされているが、年度末までに5基分(農村地区3基、海岸地区

また、昨年度までに23基設置されており、うち15基は海岸地区。現在も浄化槽設置事業補助(5人槽90万円、7人槽95万円)の広報紙の配布をしているが、自治会に出向いて説明するなど、さらなる普及促進を図りたい。



合併処理浄化槽の設置工事

教育用パソコン修繕は

問 修繕費37万円の内容は。

答 茶内第一小学校の無線ラン受信機が暴風雪により破損。これまでも、現場での受信状況が悪かったため受信場所を移動したことによる費用である。

問 現在の無線ラン利用件数は。また、今後光ファイバー導入も必要と思うが。

答 利用件数は54件である。光ファイバー導入は必要と考えている。高額であるので、すぐに導入とはならないが、大容量データを、長距離伝送できることから将来的には必要と思う。今後の検討課題としたい。



決意を胸に表敬訪問

スポーツ振興費の追加は

問 スポーツ振興補助の追加内容は。

答 9月4日現在で17件64人の方に助成した。今後、来年3月までのスケート・空手など13大会に対する追加予算である。

ヒグマ駆除対策費の増額は

問 新規就農者等基金積立金216万円は、研修生が町外に就農したことによる寄付であるが、町内で就農できなかった理由は。

答 この寄付金は、早期就農を望んでいた研修生2組4人が鉦路太田農協と標茶農

研修牧場からの寄付金は

協で就農可能との情報を得て相談があった。管内全体の酪農家戸数維持の観点からも本人の希望を尊重し、両地区での就農となった。受け入れ先の太田農協と標茶町の農業法人から同牧場へ返納された研修費を寄付金として受け入れ、基金へ積み立てるもの。

答 研修牧場は町内酪農戸

問 当初予算

での間、現地パトロール・箱ワナ設置などに延べ78人の出役経費として64万円を要したことが主な理由である。

36万円に対し66万円の補正はヒグマの出没回数が増えていることが要因か。今後、秋にかけて出没が予想されるが、年度別の推移は。



猟友会による箱ワナの設置

答 6月15日から散布地区で目撃情報が相次ぎ、7月12日に安全が確保されるま

年度	目撃件数	駆除頭数
24	38件	2頭
25	31件	3頭
26	45件	1頭
27	30件	3頭

27年度は8月末現在

スズメバチ駆除の実態は

問 スズメバチが大量発生しているというが、過去5年間の出動件数は。

また、駆除にあたる職員に危険は伴わないか。

答 今年度は出動要請が多く9月8日現在で50件を超えている。(過去の実績は表のとおり)

駆除に際しては防護服着用の上、専用の強力殺虫ス

プレーを使用するなど、職員の安全確保に最大限の注意を払っている。

なお、スズメバチは軒天に巣を作る習性があるので、隙間などをふさぐよう指導している。

年度	件数
22	26件
23	21件
24	2件
25	21件
26	7件
27	60件

27年度は9月末現在



完全防備でスズメバチの巣を駆除

その他の主な歳出（一般会計）

歳出の内訳	金額
財政調整基金積立金（前年度剰余金の1/2と条例規定の50万円）	3970万円
職員住宅改修工事（霧多布東1条2丁目 1棟4戸×3棟）	1390万円
マイナンバー制度導入に係る準備経費	904万円

特別会計

補正予算を可決

◇介護保険特別会計

国庫支出金等返還金の確定などにより468万円を追加し、予算総額4億5260万円に。

◇浜中診療所特別会計

医療機器購入などの追加により326万円を補正し、予算総額2億5200万円に。

◇下水道事業特別会計

汚水管渠工事の追加により294万円を補正し、予算総額4億4211万円に。

□財産の取得を可決

スクールバス29人乗り2台
茶内小・中学校に

(取得先) (株)浜中車輛
(取得金額) 1576万円

(納期) 平成28年1月12日
※円朱別線と西円朱別線に配備。

水道事業会計

剰余金を積み立て

平成26年度剰余金1796万円のうち、610万円を減債基金に、186万円を利益積立金に、1千万円を自己資本金に積み立てることとした。

条例を改正

□個人情報保護条例

番号利用法（マイナンバー制度）は高度な個人識別機能を有することから、より厳格な保護措置を講ずるための改正。

□手数料条例

マイナンバー制度の運用に伴う、個人番号カードの再交付手数料800円を追加する改正。（初回は無料）

□税条例

納税者の負担軽減を図るとともに、的確な納税を確保する観点から地方税の納税猶予制度が見直されたことを受けての改正。

納税者の申請に基づく分割納入の方法や換価処分などの猶予などを規定。

教育委員の 任命に同意

天間館りゆう子氏は、9月30日付で任期満了となることから、無記名投票の結果、適任と認め、任命することに同意しました。



天間館りゆう子氏(霧多布)

新体制決まる

町長選挙に

松本博氏が当選

9月29日町長選挙が告示され、松本博氏が当選しました。



町長
松本 博 氏

副町長を選任

10月19日開催の第3回臨時会において松本賢氏を適任と認め、選任に同意しました。



副町長
松本 賢 氏

意見書

可決

◇林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

近年、地球温暖化が深刻な環境問題となつて

いる中で、森林整備事業および治山事業森林整備加速化・林業再生対策などを利用し、植林・間伐や路網の整備、山地災害防止、木造公共施設の整備を推進することが重要である。

また、林業・木材産業の振興と山村における雇用安定化を図るため、林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を要望。

(全員賛成)

否決

◇「戦争法案」の今国会成立に反対し廃案を求める意見書

(賛成3人、反対8人)

風力発電所の 経営状況を報告

浜中町が出資する一般社団法人浜中町風力発電所(榑町高台に設置)の経営状況が報告された。2015年決算で、売電額は3575万円。当期純利益は266万円となった。

なお、現在停止している訳は、今年度計画していた主軸ベアリング交換時にメインシャフトに亀裂が発見され、シャフト部品の製作に時間を要しているが、11月中には稼働の予定。

決算審査特別 委員会を設置

平成26年度の各会計の決算書が監査委員の意見書を添えて議会に提出され、議長・監査委員を除く10名の議員による委員会を設置し、閉会中の継続審査とした。

第2回臨時会 (7月14日開催)

Ⅱ工事請負契約を議決Ⅱ

公営住宅新築工事(霧多布H27)請負契約を議決(契約先)赤石建設株(契約金額)

1億1664万円
(工期)平成28年3月10日



稼働停止中の風力発電

一般質問

堀金 澄恵 議員



問

健康に暮らせる
高齢者支援は

答

各地域で行われている
健康教室の利用を

堀金 要介護状態にならないためには、高齢者が自主的に予防に取り組むことが必要と思う。各地区で行っている健康教室で、介護実技講習を取り入れてはどうか。

町長 現在各地区6カ所で教室を行っている。構成員は老人クラブであり、年齢的にも実技は無理と考える。女性部などでの要望があれば

は行うことはできる。

堀金 地域住民・高齢者同士が声の掛けやすい体制づくりが必要と思っている。

「高齢者等見守りネットワーク」「SOSネットワーク」があるが、町民へ内容の周知はされているか。

町長 町では年1回関係機

関と会議を持っており、その中で、利用方法なども知らせている。今後も周知徹底を図りたい。

堀金 高齢になり車の運転をやめ、家族がいても送迎ができず、外出の機会がない人に、ゆうゆ行きのバス利用を進めてはどうか。



高齢者の健康づくりに人気の「ふまねっと」

また、ゆうゆでの健康教室を行うことはできるか。

町長 ゆうゆでの健康教室は可能であるが、希望している老人クラブとの協議が必要である。

バスの問い合わせは町交通安全係か、委託先事務局の浜中運輸である。

問 障がいのある人が安心して働く場所は

答 授産施設の開所を検討する

堀金 障がい者自立支援協議会に家族の参画はあるか。また、安心な場所働くことができる町内での職場は少ないと思うが、今後はどのように考えているか。

町長 協議会には他の役職と兼ねてはいるが、家族も参加している。

また、障がい者の支援は一般町民に年2回講演会を行い、理解を深めることにしている。職場への理解も必要に応じて行っている。

一般企業への就職困難な人を対象に町内で働く場として授産施設を関係機関と協議しながら、開所に向け前向きに検討していく。

一般質問

加藤 弘二 議員



問 高校生まで医療費の無料化を 答 子育て支援の総合政策で検討したい

加藤 本町の乳幼児医療費制度の現状はどうか。
町長 平成22年度から、中学卒業の3月31日まで、完全無料化をしている。
加藤 財政面で医療費助成の本町の持ち出しは。
町長 平成26年度の決算ベースでの持ち出しは約1400万円となっている。
内訳は、平成19年度の小学生の拡大で町負担は74

3万円、平成22年度の中学生の完全無料化で666万円の負担増である。
加藤 この制度は、釧根管内では先駆的役割を果たしている。この制度に対する町民の反応はどうか。
町長 本町に転入してきた家族や、長く住み続けている家族から大変喜ばれている。
加藤 私のところには、高校生までこの制度を適用させてほしいという要望がきている。実施するとすれば町負担はどのくらいになるか。
町長 本町の27年度の高校生は161人であり、町の持ち出しは350万円くらいとなる。
加藤 高校生までとなると町の負担が1750万円となる。町民の要望と照らしてこの金額はどうなのか。
町長 町で行った子育て支援アンケートでは、医療費助成は高い評価を得ている。受付窓口では医療費制度の高校生までの拡充の声があるので検討していきたい。

乳幼児等医療費受給者証			
公費負担者番号	92012202	受給者番号	1234567
受給者	住所	北海道厚岸郡浜中町霧多布東4条1丁目35番地1	
	氏名	浜中 太郎	男/女
	生年月日	平成 14 年 4 月 2 日	
有効期限	平成 27 年 4 月 1 日から		
	平成 30 年 3 月 31 日まで		
自己負担	なし		
発行機関名及び印	北海道厚岸郡浜中町 浜中町長 印		
交付年月日	平成 27 年 4 月 1 日		

問 役場職員の労働環境充実を法に基づき実施している
答 法に基づき実施している
加藤 役場職員の初任給手取り賃金は。
町長 高校卒で1カ月11万6千円。4年制大学卒で14万2千円である。
加藤 聞いて驚いた。安い。これでは生活できない。民間の賃金も高くはないが手取りで15万円くらいが多い。
町長 人事院勧告、労働基準法に基づき実施している。
町長 夏場など仕事が忙しい時には残業がついて25万円とあって息をついている。また、超勤手当、年次有給休暇、祝祭日出勤など労働基準法どおり実施されているか。町内の企業の模範となるような働きやすい労働環境を維持してほしい。

一般質問

川村 義春 議員



問

松本町政
2期目に向けた思いは

答

3つの大きな柱で
町政を推進

川村 松本町政2期目に向けて、再選出馬表明されたが、どのようなまちづくりを目指すのか強い思いを伺いたい。

町長 まちづくりの大きな指針「命支える大地と海・自然と調和するまち・はまなか」の実現がすべての基本である。今後のまちづくりの大きな柱として次の3つを考えている。

川村 まちづくりの目指す方向はこれまでと同じ目線である。経験と実績を財産に自信をもって町政執行の先頭に立っていただきたい。

町長 これからも1次産業をしっかりと支え、福祉施策や災害対策も職員と一丸となって進め、地域全体が活気にあふれ、誰もが誇れる希望に満ちた浜中町の創造を目指したまちづくりを進めていきたい。



問 琵琶瀬木道の全面的に前向きに予算提案を検討する

川村 多くの湿原ファンが利用している琵琶瀬木道の老朽化が激しく、高床式の床板が腐食により抜け落ち危険な状態である。26年の6月と9月定例会で協働

問 琵琶瀬木道の全面的に前向きに予算提案を検討する

問 行政改革大綱の策定は今年度中に策定する

川村 第7次行革大綱の策定状況と財政再建プランの後期5カ年の検証と公表は。

町長 行革大綱は、現在素案を策定中で、行革推進委員会に諮問し成案となる。その後に議員配付したい。再建プランの検証は、26年度決算もまとまったので、各課に資料提供を求めており、3月中に町広報で公表したい。



腐食が進み、全面改修が待たれる琵琶瀬木道

のまちづくりの一環として質問しているが、提案した改修案を基に「うまいもん市」までに全面改修する考えはないか。

町長 財政状況が厳しく補修で対応してきたが設置後21年経過しており、腐食が相当進み危険な状態を確認している。公共物なので、町の責任で改修内容を積極的に検討し、予算提案できるといった方向で前向きに考えていきたい。

一般質問

秋森 新二 議員



問 ヒトデの駆除対策を

答 処理施設の建設は難しい

秋森 漁業の天敵ヒトデにより、ツブ籠漁業の好漁場の浅瀬は荒廃し、今は深い漁場が変わった。
ツブ籠・毛ガニ籠に入るヒトデは、海中投棄しかなく漁場荒廃が心配される切迫した実情にある。厚岸漁協は13年に稼働した堆肥センターに多い年で176トンを搬入している。
堆肥センター建設を希望

するが、当面、厚岸町の処理施設を利用してもらえないか。

町長 厚岸町同様のセンターは材料の糞尿確保などで建設は難しい。施設利用の件は厚岸町と相談したい。

問 滞在型観光を目指してホテル誘致を

秋森 浜中町には多くの景勝地と豊かな食材がある。また、貴重な天然林も残されている。17杉のシロエゾマツ保護林（道有林）である。

町のホームページで保護林を紹介し観光資源として活用すべきでは。

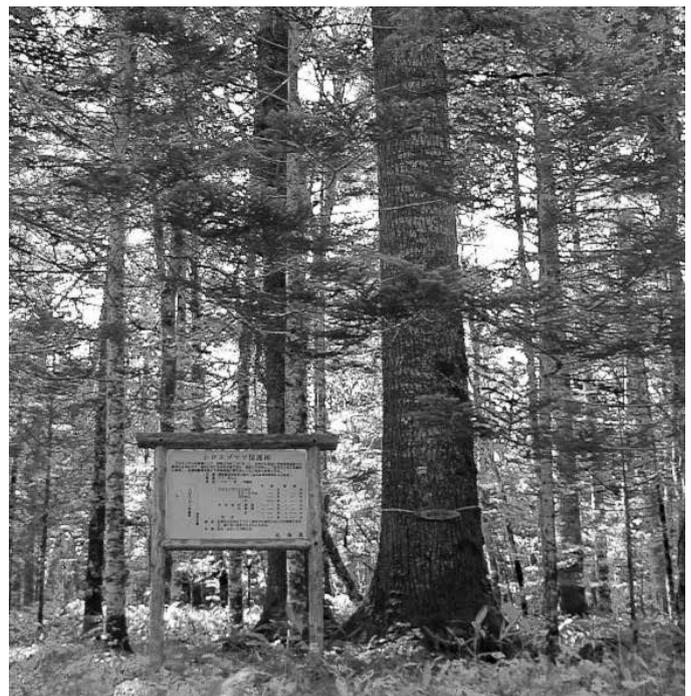
町長 クロエゾマツの変種であり生態的観察を通じ学術研究に資するものとして昭和31年に設定された保護林。当該区域はシロエゾマツ約400本のほか、トドマツや広葉樹約1万4千本からなる混合林である。北海道と相談するが、林道が狭いなどエコツアーとしての活用は難しい。

秋森 ルパンフェスティバル

年度	集客数	宿泊客数	経済効果
24	3000人	未調査	未調査
25	3500人	73人	350万円
26	8000人	181人	850万円
27	7000人	284人	1100万円

町長 ルパンフェスティバルの集客数は表のとおり。ルの来場者の推移・宿泊状況・経済効果は。

秋森 観光客の要望は。景勝地へのアクセス、



観光資源化したいシロエゾマツ保護林

食事処、土産物の購入など施設が少ないと言われている。

秋森 受入側の悩みは。

町長 バスツアー客の減、当町までのアクセスであり、今後は体験メニューを増やし滞在型に力を入れていきたい。

秋森 滞在型観光を目指し、ホテル誘致は。

町長 新たな宿泊施設の誘致が現在の宿泊施設強化が大きな課題である。観光協会など関係団体と協議して進めたい。

一般質問

田甫 哲朗 議員



問 浜中診療所で人工透析治療を

答 厚岸町立病院との連携で対応

田甫 町内の人工透析患者数の推移と受け入れ状況、通院先と通院手段は。
町長 27年7月末で17人が治療を受けている。過去5年間は2〜3人の増減で推移し、人口比率からも将来的に減少すると思われる。通院先は、釧路4人（自家用車）・厚岸町立病院13人（自家用車7人・社協送迎6人）で、透析用病床は厚岸

に16床あり1日最大48人の患者を受け入れられる。現在の患者数は、厚岸町内19人・浜中13人である。

田甫 患者の多くは、週3回の治療が必要で1回に要する時間は4〜5時間を要し、一定程度の体力消耗があるというが、町内の患者も同様か。また、荒天による交通障害（吹雪など）により通院できない事態も考えられるが。

町長 町内患者も同じであり、治療後に頭痛・吐き気・血圧低下など身体的負担は

大きいと考える。

荒天など支障が生じた時は優先的な除雪体制や前泊など、医師との相談・指示による対応となる。

田甫 身体的・精神的負担軽減のため、浜中診療所に人口透析治療の導入は考えられないか。

町長 町内で透析治療を行うには、医師1人・看護師2人・臨床工学士1人の増員。4床2室が必要となり施設の増改築を要する。

厚岸町立病院が多額の経費をかけ透析治療を充実さ

せた背景（浜中の患者のケア）がある。

町財政からも厚岸との連携を軸にした対応となる。

負担軽減策として、自家用車で通院できる人でも厚岸に限るが、社協送迎利用は可能である。

問 庁舎建設に向けての今後の取り組みは

答 時間を要するが確かな整備計画を

田甫 この件に関しては町民全てが当事者であり、それぞれの立場での考えに固執してしまう可能性がある。第三者の客観的視点からの意見・提言を聞く機会が必要と考えるが。

町長 財源対策の面からもしっかりと整備計画を定め国へ要望していくことが必要であり、相当の時間を要する。28年3月には道が津波被害想定を公表する予定であり、これらも含め協議検討を重ねて行く。第三者の意見・提言を聞くことはこれまでの経過を踏まえるとは簡単ではないが今後の検討課題の一つと考える。



総合病院での人口透析治療の様子

学不可以已

「浜中学」を学んで

霧多布高等学校3年A組

高橋 輝ひかる



○揮毫 書道部2年 三山 瑞稀さん
○読み方 学は以て已むべからず。
○意味 学問は途中でやめてはならない。

たがいに助け合い、あたたかい
まちをつくりましょう。
(町民憲章より)



中学生の清掃ボランティア (うまいもん市)

私たちの故郷である浜中町は、漁業ではウニ、昆布、サシマが盛んに水揚げされ、酪農ではタカナシの40牛乳が注目を集めています。また、自然が豊かでラムサール条約登録湿地である霧多布湿原があります。私は第1次産業が盛んで、自然豊かなこの町を誇りに思っています。

私は大学進学を希望していません。浜中町から一時離れる期間がありますが、故郷のことを考えていないわけではありません。今、浜中町は高齢化の進行により漁業と酪農で後継者不足が、深刻な問題となっています。また、せっかく素晴らしい観光資源を持っているながら宿泊施設の不足に

より観光客の受け入れが上手くできないことや、湿原や海岸にゴミが捨てられ、景観が損なわれていることなど、たくさんの問題があります。後継者不足の解決を図る試みとして、酪農分野では研修牧場で新規就農者への支援が行われています。このような取り組みを漁業でも取り入れ、新しく漁業に携わる人材の育成をすることで、浜中町の第1次産業の活性化につながると思います。また、この活動で若者を呼び込むことが出来れば、高齢化対策にもなると私は考えます。

また、浜中町の観光資源として、町出身者であるモンキーパンチ氏のルパン三世を活性化するために、今ある課題と向き合い、解決していく必要があります。これからのために、私たち若い世代がこのような発表の場ではつきりと意見を述べていければ良いと思います。

議会のうごき

6月～9月定例会までの議会活動概況です。

6月	19日	第1回社会文教常任委員会
	23日	第3回広報調査特別委員会
	24日	第1回総務経済常任委員会
	30日	第4回広報調査特別委員会
	7月 4～5日	うまいもん市2015 (琵琶瀬)
7月	7～8日	北海道町村議会議員研修会 (札幌市)
	14日	第2回臨時会
		第5回広報調査特別委員会
	17日	第2回総務経済常任委員会
	18日	釧路駐屯地創立62周年及び第27普通科連隊創隊53周年記念行事 (釧路駐屯地)
	23～24日	町村議会新任議員研修会 (帯広市)
	27日	札幌・大くしろ会 (札幌市)
27～29日	北海道開発予算要望に係る中央要望 (札幌市・東京都)	
8月	7日	釧路町村議会議長会8月定例会 (白糠町)
	8～9日	ルパン三世フェスティバルin浜中町 (総合文化センター)
	19～20日	北海道町村議会広報研修会 (札幌市)
9月	27日	第3回総務経済常任委員会
	2日	第9回全員協議会
		第3回議会運営委員会
	6日	第54回さきりたっぶ岬まつり (霧多布市街特設会場)
	9～10日	第3回定例会

用していますが、私はさらにグルメについて考えてみても面白いと思います。例えば、浜中町で獲れた海産物を味わえるようなお店の紹介をネットで公開したり、地域の食材が味わえるお店を新たに開いたりして、食に関心のある人々を呼び込めれば良いと思います。

あとがき

浜中町130年にあたり「新浜中町史」が発刊されました。先人・先輩たちがその時々の町勢・ニーズに即したまちづくりを進めてこられた歴史が読み取れます。特に、学校が創られた背景、そこを核に地域が栄えてきたことを思うとき、時の流れを考えさせられます。

さて、今回で114号となる「議会だより」です。が町史にもあるように創刊号は昭和62年8月でした。議会の活性化が求められることから、「町民に議会活動の報告をする」とともに、情報を共有し町政への関心を促す」という刊行の目的は今も変わらず、読んでもらうための紙面づくりに今後も取り組んでまいります。

(委員 田甫)